4月 新講座

戦国真田氏の軌跡

―武田家臣から近世大名へ―

本年度 NHK 大河ドラマ「真田丸」は真田信繁（一般にいう幸村）が主人公です。信濃の片隅の「国衆」としてスタートした真田氏は、戦国の動乱をくぐり抜け、江戸時代には松代藩 10 万石の大名に登り詰めました。真田幸綱・信綱・昌幸・信之四代の歴史を追うとともに、「真田丸」の主人公真田信繁の実像にも迫ってみたいと思います。
4月から始まる６ヵ月講座です。



真田信繁肖像（真田宝物館所蔵）

●講　師　慶應義塾大学非常勤講師　丸島 和洋
●開講日　第３土曜日 13：00～14：30
●受講料　６ヵ月（全６回）分　13,800 円＋税

①「真田氏の発祥と戦国大名武田氏への従属」（4／16）
戦国期の真田氏初代幸綱が築き上げた「国衆」とはどのような存在か？真田幸綱・信綱父子と武田信玄の関係

②「真田昌幸の家督相続とその意味」（5／21）
真田幸綱の三男昌幸が、真田氏の家督を嗣いだことで起こった変化と、昌幸の武田時代の活躍

③「天正壬午の乱における真田昌幸」（6／18）
武田氏滅亡後、真田昌幸が次々と主君を乗り換え、戦国の世を生き残った過程

④「豊臣大名への道」（7／16）
真田昌幸が徳川家康の軍勢を打ち破った上田合戦と、豊臣政権のもとでの大名化

⑤「真田信繁の実像とその奮戦」（8／20）
真田昌幸の次男信繁の生涯と、豊臣秀頼が滅亡する大坂の陣の実像

⑥「真田信之による近世真田家確立」（9／17）
関ヶ原で父昌幸・弟信繁と袂を勝った信之（信幸）が、近世大名の礎を築いていく道のり

丸島和洋（まるしま・かずひろ）
1977 年生まれ。慶応大学大学院後期博士課程単位取得退学（博士＝史学）。国文学研究資料館特任助教、慶応大学文学部非常勤講師などを歴任。本年NHK大河ドラマ「真田丸」の時代考証も担当する。著書は「戦国大名の『外交』」（講談社）「戦国大名武田氏の権力構造」（思文閣出版）「郡内小山田氏 武田二十四将の系譜」（戎光祥出版）「真田四代と信繁」（平凡社）など。

詳細は右記フリーダイヤルまでお問い合わせください。
※内容・日程は変更になる場合がございますご了承ください。
※講座により募集締切日が異なりますので、お問い合わせください。
※お申し込みの人数によっては、開講中止となる場合もございます。予めご了承ください。

中日文化センターへ初めてご入会される方は、別途入会金（3,500円+税）が必要です。

名古屋・栄 中日文化センター
Culture & Communication 中日新聞
フリーダイヤル 0120-53-8164 10:00～19:00 日曜日は17:00まで
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル4F